

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

| 事業の概要 | | | |
|---------------|--------|--------------|-------------------|
| 事業開始年度 | 平成17年度 | | |
| 総合計画 | 大項目 | 基本目標 | 03 地域文化と人が輝くまちづくり |
| | 中項目 | 基本施策 | 02 生きがいのあるまちづくり |
| | 小項目 | 施策 | 06 スポーツ・レクリエーション |
| 事務事業名 | 02 | スポーツ推進事業 | |
| 根拠法令・例規等 | | | |
| 問 | 担当課(室) | 教育委員会スポーツ振興室 | |
| 合 | 職・氏名 | 室長補佐 山本香代子 | |
| 先 | 電話 | 63-3813 | |
| このシート作成に要した時間 | | | 時間 |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

| 事業の目的 | |
|--------------------------|---|
| 対象(何に対して) | スポーツ少年団・体育協会等社会体育団体 体力づくり・健康維持・技術の向上を目指したスポーツ愛好者 スポーツ大会に出場する市民と観覧者 大会に出場するアーチェリーの競技者と観覧者 |
| 目的(何のために) | スポーツ少年団・体育協会育成・支援を行い、活性化を図る。年齢や適性、地域や職場等の実態に応じたスポーツ活動を展開するための機会や情報提供 市民のスポーツ活動の発表の場を提供 アーチェリーの全国大会を開催し、アーチェリー競技の拠点づくりを行う。 |
| 事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか) | 各種団体の支援をし、協働でスポーツ振興を行う。定期的な運動・スポーツの実施率の向上を図る。日頃の練習の成果を発揮し、活動の発表の場を提供することにより、スポーツの楽しさと交流を図る。全国大会の開催により、全国へ備前市の名を広め、地域での活性化を図る。 |

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性を評価

| 事業の実績 | | | |
|------------------|------------------|---|-----|
| 目的を達成するために実施した事業 | 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
| | 社会体育団体育成事業 | 備前市スポーツ少年団・備前市体育協会の事務局 | |
| | スポーツ教室・研修会等の開催事業 | 研修会の開催(前期・後期) スポーツ教室(前期・後期各8回) | |
| | スポーツ大会等開催事業 | 大会の開催(チャレンジデー・バスハイキング・リレーカーニバル・海洋スポーツ普及大会・テニススクール・スポーツフェスティバル・ふれあいマラソン大会) | |
| | スポーツ拠点づくり推進事業 | 全日本キャデット・アーチェリー選手権大会の開催 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

| 事業の成果 | | | | | |
|--------------------------------------|----------|--------|--------|--------|-----------|
| 成果指標名 | 年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度目標値 |
| 各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室の参加者数 | 目標値(A) | 10,100 | 10,200 | 10,500 | 10,500 |
| | 実績値(B) | 4,299 | 1,761 | 2,921 | 到達目標値 |
| | 達成率(B/A) | 42.56% | 17.26% | 27.82% | 10,500 |
| 成果指標設定の考え方・式や説明 | | | | | |
| 市主催の、各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室に参加した人数 | | | | | |

| 事務事業の評価 | | 5段階評価(A-E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い | |
|---------|--|---|---------------------|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性 | <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ | 妥当性評価 <A-E> B |
| | 効率性の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている | 効率性評価 <A-E> B |
| 有効性の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している | 有効性評価 <A-E> B | |

事業の目的や成果指標を評価する際の留意点

| 進行年度(H23年度)の改革改善内容 | | | | | | | |
|--------------------|---|------|-----|----|------|----|-------|
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
| 説明 | スポーツする人だけでなく、市民総参加型のイベントであるチャレンジデーの参加者を増やし、チャレンジデーをきっかけに、市民が週1回15分以上運動やスポーツを行う実施率を上げるよう呼びかける。 | | | | | | |

| 事業費等 | | 単位 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 | 平成22年度実績 |
|----------|---------------|-------|---|----------|----------|
| 事業費 | 直接事業費 | 千円 | 1,237 | 1,783 | 1,046 |
| | 必要人員人件費 | 千円 | 1.13人 | 7,479 | 0.64人 |
| | 業務費 | 千円 | 8,716 | 7,143 | 6,505 |
| 決算額 | 国県支出金 | 千円 | | | |
| | 受益者負担 | 千円 | | | |
| | 繰入金 | 千円 | | | |
| | その他() | 千円 | | | |
| 一般財源 | 千円 | 8,716 | 7,143 | 6,505 | |
| 受益者負担比率 | % | - | - | - | |
| 結果指標名 | | 単位 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 | 平成22年度実績 |
| 結果指標 | スポーツ大会・スポーツ教室 | 説明 | 各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室の参加者数(チャレンジデーは除く) | | |
| | 結果指標量 | 人 | 4,299 | 1,761 | 2,921 |
| | 前年比 | % | 41.0% | 165.9% | |
| | 活動コスト | 円 | 0 | 0 | 0 |
| 単位当たりコスト | 円 | 0 | 0 | 0 | |

| 総合評価 | | 5段階評価(A-E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い | |
|---|-----------|---|--|
| 住民総参加型イベントに参加することで、運動やスポーツのきっかけになり、また、体験型スポーツイベントであるスポーツフェスティバルで、スポーツの楽しさを知らせたことで、スポーツ実施率が向上し、健康で明るい生活につながるようになるため、市民からの情報をたくさん手し、工夫を凝らした魅力ある、だれもが気軽に参加できるイベントを開催する必要がある。 | 評価区分<A-E> | B | |

| 平成24年度の方向性・取組目標 | | | | | | |
|-----------------|---|------|-----|----|------|----|
| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 |
| 取組目標 | どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加でき、スポーツに親しめる環境づくりに努めるためには、市民のニーズに合った、だれもが参加しやすいスポーツイベントやスポーツ教室の企画をする必要がある。 | | | | | |